



中山太鼓連

今年5月に設立35周年を迎えられた、中山太鼓連の田上会長にお話を伺いました。

設立のきっかけは

当時、埴原青年団で活動していた方たちの「埴原神社の祭りを盛り上げたい」という思いから、1987年に結成されました。

現在のメンバーは

大人10名、子ども（園児から高校生まで）10名です。子どもたちには、最初は「子ども太鼓教室」として指導をしていましたが、現在は、太鼓連の一員として大人と一緒に活動しています。

訪問当日は、子どもたちの練習日でした。

「子どもたちの声」
みんなと一緒に演奏できる練習日が楽しみです。
初めての曲などは、最初は大人たちの指導を受けるけ

ど、ほとんど自分たちで自主的に話し合っって練習しています。

9月1日現在の中山	
世帯数	1,362
人口	3,149
【問い合わせ】 中山公民館報編集委員会 58-5822	

子どもたちの練習風景



練習場所は

小学校の体育館を借りて、練習をしていましたが、2009年に現在の稽古場が、建てられました。

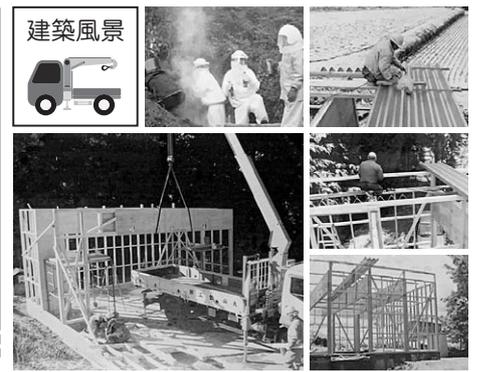
メンバーのOBの方の土地をお借りし、メンバーの職人技（建築士、大工、電気屋、畳屋など）を結集し、天井や壁には畳を張るなどして防音も施し、自分たちで建築しました。

演奏曲は

当時のメンバーが作曲したオリジナル曲を演奏しています。

本来、太鼓の楽曲には楽譜はなく、口伝えで引き継がれてきていましたが、今のメンバーにより譜面化されました。

建築風景



35周年記念公演は いかがでしたか

5月15日に開催しましたが、2月に「まん延防止重点措置」が適用されたため、練習に集まれない、公演案内を思うように出せないなど、不安な状況でしたが、公演直前に、集中してしっかり練習することができたため、当日は満足のいく演奏となりました。

35周年記念公演



大勢の方に、観賞していただくこともできました。観客の中には、太鼓に興味を持ち、後日体験に訪れてくれたお子さんもいました。

今後の活動予定は

- 9月23日、24日
なかやま体験フェスタ 体験教室
- 10月30日
中山地区文化祭にて演奏
- 11月13日
松本マラソン応援演奏
- 1月
あめ市にて演奏

未来予想図は

設立当初から先輩方から受け継がれてきていることは、いずれは「地域の伝統芸能」として、名を馳せたいという想いです。

この先も長く続いていく太鼓連として、子どもたちに指導しながら、この想いを繋いでいきたいと思います。



田上会長

ありがとうございます。これからも、力強い音色を響かせて、地域を盛り上げていってください。



中山太鼓連
ホームページ

千石地区の古民家をリノベーションし、この7月で7周年を迎えた「Gallery sen」。店主は大久保修子さん。

手仕事のぬくもりが感じられる生活の道具を展示・販売しています。

雄大な山々と松本平を一望するロケーション。都会ではあり得ない立地を楽しみに来てくれる首都圏からのお客様も増えているそうです。

お店の裏手には、夫の公太郎さんの工房「大久保ハウス木工舎」があります。手がける作品は木を削りだした調理道具で愛用者は全国に。

公太郎さんの作品とともに店内に並ぶ数々の工芸作家の作品。県内で活動する作家のものが多く、「長野の手仕事」展といった趣があります。

「こだわり?う〜ん、何だろう…」と思いを巡らす修子さん。「自分で使ってみて、自信をもって紹介出来

中山のお店紹介

Gallery sen



「千石」に由来する店名“sen”のロゴデザイン(一〇〇〇)

るものしか置いていません」と言い切ります。

インスタグラムで紹介する商品写真は自身が撮影。「せっかくの素晴ら

しい“モノ”を誇張し過ぎていけないけれど、見栄えがしないものには出来ない



木べら・杓文字等(大久保ハウス木工舎)、他

ので写真は学び続けたい」という作り手への誠意など、自然体のこだわりで満ちていました。

散歩がてらお店を訪ねて、作品に込められた思いやストーリー、手作り品ならではの味わい等を感じてみてはいかがでしょう。

ストーブ3台つけても10℃にもならず1日いられないという12~3月は、お店はお休みです。

住所：長野県松本市中山6573
OPEN：土日月(臨時休館あり)
Instagram：@gallery.sen



その物並べられるように表面に並べる石。) (雨風で盛り土が削られな

古墳に使われる「葺き石」

「それはあり得ない」と決めつけずに、筋書きを作ってみます。栄珠院からの尾根には古墳かも知れないと言う地形が二ヶ所あります。事実その内の一つ近くで地中から、平たくて角が取れた河原の石が纏まって沢山出て来ました。尾根にある河原の石ですから、人が運んで来た物です。

大胆に言いました。埴原城址と呼ばれる山の凸凹は「古墳群や宗教施設」である。

名探訪

埴原城址は 本場に城跡か

赤羽重信 一—

■そこで「いつの時代か罰当たりな奴がいて、地形が手頃だからと昔のお墓の上に砦を作った。」とすれば、なんとなくもってもらいやすい説になります。

■従って、「古墳説はあり得ない。」と言われそうです。■「それはあり得ない」と決めつけずに、筋書きを作ってみます。栄珠院からの尾根には古墳かも知れないと言う地形が二ヶ所あります。事実その内の一つ近くで地中から、平たくて角が取れた河原の石が纏まって沢山出て来ました。尾根にある河原の石ですから、人が運んで来た物です。

の形をしていました。「古墳説」が元気になりました。ただその時、もしかすると昔「行者が願ひ事(或いは呪い事)を書いて埋めた石かも知れない。」とあるヒトから言われ、祟りが起こらないようにと直ぐに埋め戻しました。ですから私に祟りはないはず。 ◆◆◆ 近くの集落には、水平に近い畑が多いですから、住居跡の可能性ががあります。 稲作農耕民族は、土地を水平にして住居を作ります。 ある時代から、お墓は居住地から見える小高い所に作る様になりました。 と言う訳で埴原城址の一番上「本郭」が一番偉い奴のお墓である。 其れでも、本郭近くには二重空堀や段郭等の如何にも山城の様な地形が有りります。

が少なかつた為か、実の入りが良くなかつたですが、枝豆は三株程収穫し、家族で食べられる分の量がありました。 来年は、トウモロコシだけ、一人二本は食べられる事を目標にしてみたいと思います。(T・U)

自分で野菜を育ててみたいと思ひ、トウモロコシと枝豆の種を蒔いてみました。 雑草の処理を怠り、伸びてしまつたりさせながらも、先日収穫をしました。 トウモロコシは植えた本数が良くなかつた為か、実の入りは三株程収穫し、家族で食べられる分の量がありました。 来年は、トウモロコシだけ、一人二本は食べられる事を目標にしてみたいと思います。(T・U)



家庭菜園 (続く)

